

こんにちは！ 日本共産党の **好きです！憲法9条**

大名みえ子です

ご相談はお気軽にお寄せください

2013年4月1日 No.223
〒319-1112
東海村村松2401-2
toukai@oona-mieko.info
電話・ファックス 029-284-0761

東海村から日本の未来を考える ～いのちを守るために～

Big対談 村上達也村長&小森陽一氏

3月30日、東海文化センターで村上達也東海村長と、小森陽一東大教授の対談企画があり、約800席の会場はほぼ満席、立ち見者が出る盛況振りでした。今の政治の焦点となっている憲法「改定」問題と「原発の今後」を鋭く語り合い、聞き手が満足感を覚える大変充実した内容でした。一部をご紹介します。



【村上達也村長】

安倍首相は、「原発ゼロを無責任だ」と言って、ひっくり返そうとしている。3.11後の福島原発の原因究明も責任追及も、被害者救済もされていないのに。これこそ、逆に無責任だ。

【小森陽一教授】

何も改善されていない。それなのに再稼働しようとしている。

原発内の労働者は「作業員」と呼ばれているが、なぜ「作業」なのか。報道は原発内労働者を取り上げなくなった。危険手当をピンハネされたりもしている。小林多喜二「蟹工船」の第三段階以下だ。なぜ、そこまで原発を再稼働したいのか。2011年11月に石破茂氏は、「原発を維持するということは、核兵器を作ろうと思えば一定期間のうちに作れるという核の潜在的抑止力になっていると思っています。逆に言えば、原発をなくすということはその潜在的抑止力をも放棄することになる、という点を問いたい」と述べている。「責任」を果たすというのは、国民に対してではなく、アメリカに対しての責任のように感じる。

【村上達也村長】

国民の存在が薄まり、国家が大きくなってきていることが、私は恐ろしい。

「原発ゼロは無責任だ」と安倍首相は言うが、昨年行われた国民的議論は完全に無視されている。「アベノミクス」を前面に立てて経済の方に国民の目をそらし、原発事故前の意識に戻そうとしている。



【小森陽一教授】

「原発がないと電気が足りない。」と言いながら、今年の夏も電力は足りた。「企業が外国に逃げていく」なども言っているが、こういうことに対峙して行くにはどうしたらよいのか。

【村上達也村長】

国のあり方というものを考えないといけない。憲法改正の話が出ているが、25条の生存権、11条と97条の基本的人権は重要だ。「日本には基本的人権はない」と言う代議士まで出てきていることが恐ろしい。国権と民権の対立、中央と地方の対立だ。戦後レジウムからの脱却、国体護持などが叫ばれ、地方自治・基本的人権無し、思想・信条の自由も無し、生存権も無し……。国家目標達成のために収れんしかねない。

【小森陽一教授】

国権と民権の対立。大日本帝国憲法下の、国家のために命を投げ出せと。学生に憲法を守るのは誰かと尋ねると、多くが「国民」と答える。これが日本の教育なのだ。日本国憲法の前文の思想を忘れてはならない。「……ここに主権が国民に存することを宣言し、この憲法を確定する。そもそも国政は、国民の厳粛な信託によるものであつて、その権威は国民に由来し、その権力は国民の代表者がこれを行使し、そ

の福利は国民がこれを享受する。これは人類普遍の原理であり、この憲法は、かかる原理に基くものである。われらは、これに反する一切の憲法、法令及び詔勅を排除する」。国民の代表者がこの日本国憲法を守らないといけなないのである。首相官邸前の抗議デモは民権の表れである。

【村上達也村長】

日本は、原発を54基も置いて平気でいられる。これは異常である。福島第一原発を除く女川原発から東海第二原発まで、全ての原発が紙一重だったことが第一。改憲と原発推進が一致しており注意する必要がある。脱原発実現に向け、前政権は国民的議論を吸い上げる姿勢があったが安倍政権になり無くなった。原発事故の恐怖を認識し直す必要がある。

茨城県民の皆さんに対しては、「署名活動」、「市町村議会への請願提出」これらが非常に効果があったと思っている。隣接市町の首長懇談会、水戸市長が代表の県央の懇話会、各市町村長、各議会、各議員へのプッシュ・働きかけがキーになっていくだろう。

茨城県知事は「周辺人口100万人」「27万人の署名」「34年経過し老朽化している」これらをいつも述べている。橋本昌知事も理解があると思う。

【小森陽一教授】

草の根運動で、世論で変える力を私たちは持っており、実践してきている。これからも世論で変えていこうではありませんか。

【村上達也村長】

カネか、プライドか、哲学か。東海村の財政、今後についての質問についてお答えする。新潟県の泉田知事が再稼働の条件として次のように述べられている。原発事故の原因が究明されること。責任が明らかにされること。まさにこれだと私も思う。「安全」の確保も担保されていなければならない。

ここで難しいのが何をもって「安全」とするかと言うことだ。規制委員会が基準を作っているがこれで安全と本当に言えるのか。非ニュートンの、原子の中の核にまで人間が手を突っ込んでしまった。原発事故は30km圏に収まるものではない。際限なく被害は広がる。経済の話から入るのは間違っている。

ドイツは脱原発を政府として決定した。日本は原発事故後2年もたっているのに何も決まっていない。原発は無くしていかなければならない。そのためにどのような施策をしていくのか、これを政府はサボタージュしている。日本は国際的に見てもゆがんだ思想を持っている。

次に原発の輸出についてお答えする。PM2.5が騒がれている。日本は中国の風下に当たる。中国で原発事故が起きたら日本は安全なのか？PM2.5どころではない。中国に対して原発規制を求めるためには、日本は原発を持っていけない。

原発を止めたら国際収支が悪化した、日本経済の衰退に繋がる、電気料金が上がる等々の意見もあるが、私は、福島事故は何だったのかと言いたい。

原子力科学は原発のみではない。医療や工業、農業の分野でも利用されている。GDPベースでは原発利用よりもこれらの分野での利用の方が超えているとも言われている。東海村では、原子力科学を推進するという、「TOKAIサイエンスタウン構想」を決定している。

☆対談の最後に小森教授が、関城文芸の「ついに太陽をとらえた」(市川紀之・元美浦村長)の一節を読みあげ、会場は観客とともに感動に包まれました。

おお 友よ 永年の親しき友よ
かの東海のむら長よ
金の亡者ども
へつらいの亡者ども言葉狩りの亡者どもから
はるかに遠く
品格と存在の次元を異にして
兄の言葉は真実を語る
この東海村の原発は廃炉にすべきと
金では魂は売らないと

JCOの未曾有の臨界事故で
多くの命の危機を救った友よ
国は動かず県も動けず
一秒を争い放射能は拡散する
そのさ中第一に思う市民のいのち
洞察とイメージと全感性の命じるまま
村単独の市民避難は実現した
「責任は俺がとる どんな結果でも俺がとる」
有りえざる臨界がおきていたのだ

亡者どもよ 見よ
似非科学者よ 思え
金につるんで口ごもる言論の徒よ 思いしれ
ここに一人の冷徹な情熱の男がいる
真正な社会科学の実践者がいる

.....

友よ 兄よ 村上達也よ
きみが倒れたらひとつの直接性が倒れる
きみが倒れたら人間の直接性が倒れる
亡者どもの切っ先はきみを貫くだろう
しがみつく過去の亡者どもが足を引きずるだろう
不毛な没理論が仕返しを企むだろう

だが友よ 君は行く 子供たちの未来へ
それは日本のかけがえのない未来だ
きみが倒れたら未来の直接性が倒れるのだ